

## 「輝く笑顔と共に」

気仙沼市立松岩小学校 教諭 小松美千代

平成25年4月～気仙沼市立面瀬小学校（教諭）

平成28年4月～気仙沼市立松岩小学校（教諭）

平成25年に新規採用され、教員生活5年目を迎えましたが、講師の経験は長く、初めて教壇に立ったときから、およそ25年が経過しました。学校職員としての生活は「ことばの教室」担当の講師から始まり、現在は気仙沼市立松岩小学校で5年生の担任として勤務しています。本校は気仙沼市の太平洋側に位置し、児童数323名の学校です。東日本大震災の津波によって学区の約三分の一が被災し、現在も学区外、仮設住宅等から通学している児童が多くいます。

外国語の学習の様子から



当時、海に面した学区をもつ小学校に勤務しており、1年生の担任でした。震災直後に、子どもたちの元気な姿と屈託のない笑顔を見たとき、心から安堵するとともに生きる喜びと希望をもらいました。その後、不便な中で



総合的な学習の時間  
「気仙沼の魅力を伝えよう」  
～地域の方々との交流の様子～

採用試験の受験をやめようと考えたことはありましたが、先生という仕事を辞めたいとは思ったことはありませんでした。単純に子どもが好きで、子どもと関わるのが好きなのです。子どもたちが「分かった!」「できた!」と輝く笑顔を見せたときに、「やりがい」や「生きがい」を感じます。特にその思いが強くなったのは、東日本大震災のときです。

「異学年交流」  
児童会祭りの様子から



始まった学校生活でしたが、「震災に負けず、未来を拓こうとする力強さ」「前を向いて生きる力」を子どもたちから日々感じる事ができました。これまでの教員生活をとおして、「継続は力なり」「焦らず長い目で見たり考えたりすること」「教員としての知識や技能」を学んできました。全てはこれまでに会った諸先輩方や、子どもたちの笑顔のおかげです。わたしにできることは「これまで学んできたことを子どもたちに伝えることだ。子どもたちといつも一緒に過ごしたい。」と強く思うのです。

今、震災に負けず活躍する教え子たちの話を見聞きしたり、輝く笑顔で「先生！」と声を掛けてくれたりしたときには無性にうれしく、感慨深いものです。これは他の仕事では味わうことができないものだと思います。

震災復興は未だ半ばであり、子どもたちが育つ環境はまだ十分とは言えません。それでも子どもたちは笑顔で登校してきます。一緒に学習し、笑い、ときには叱り、泣き。これが「生きていく」ということなのだと感じています。子どもたち一人一人が多くの出会いを繰り返し、大きく、心豊かに成長して行ってほしいと願っています。

私たちと一緒に働いてみませんか。輝く笑顔と共に！

「防災教育」  
総合的な学習の時間」  
サバメシ体験



二泊三日の野外活動  
子どもたちと一緒に登頂した栗駒山にて

